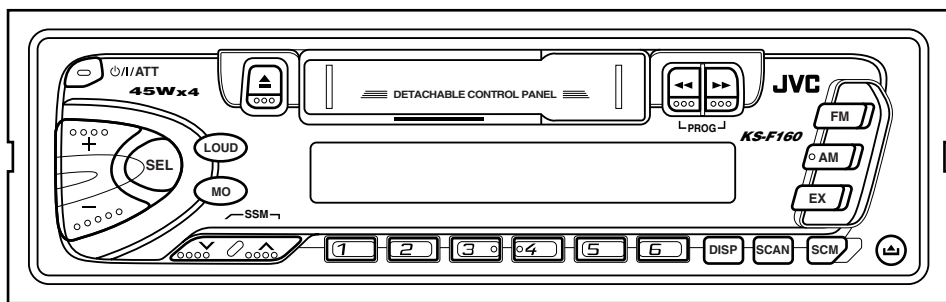


カセットレシーバー

型名 KS-F160



— お買い上げありがとうございます —

ご使用の前に

この「取扱説明書」と別紙の「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

もくじ

	ページ	ページ	
●安全上のご注意	3~5	●故障かな?と思う前に.....	21
●使用上のご注意	6~7	●保証とアフターサービス	22
・カセットテープの取扱いかた	7	●主な仕様	23
・カセットテープの保管	7	●お手入れ	裏表紙
●各部の名前	8~9		
●基本操作	10		
●時計を合わせる	11		
●ラジオを聞く	12~15		
・放送局を選ぶ	12		
・放送局を自動でメモリー(記憶)させる	12		
・放送局を選んでメモリー(記憶)させる	13		
・放送局を呼び出す(プリセット選局)	14		
・FM放送が雑音で聞きにくいときは	14		
・スキャン選局	14		
・EXボタンの使いかた	15		
・放送受信中の表示内容を変える	15		
●テープを聞く	16~17		
・テープの早送り・巻戻し	16		
・テープを取り出す	17		
・テープ再生中の表示内容を変える	17		
・ヘッド部の清掃	17		
●音量・音質の調節	18~19		
・SCMボタンでサウンドを選ぶ	19		
・SCMボタンのメモリー内容を変える ..	19		
●コントロールパネルの着脱	20		
・コントロールパネルを外す	20		
・コントロールパネルを取り付ける	20		

安全上のご注意

—はじめにお読みください—

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

●絵表示の説明

注意をうながす記号



一般的注意



手をはさまれないよう注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止

行為を指示する記号



一般的指示

安全上のご注意(つづき) –はじめにお読みください–

警告

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。



- ・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

車内に飲みかけのパック飲料等を放置しない。



- ・カップホルダーの取付位置によっては、こぼれた飲料が本機の内部に入り発煙や発火・故障の原因となります。

コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておく。



- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

車両電源配線用コード以外で延長しない。



- ・コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電源容量オーバーにより火災の原因となります。

音が出ないなどの故障や異常のままで使用しない。



- ・万一、故障や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど)が起こったら、すぐに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

本機を分解したり、改造しない。



分解禁止

- ・事故・火災・感電・故障の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。



- ・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災・故障の原因となります。

自動車を運転中に音量調節等の操作をしない。



- ・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

⚠ 注意

本機の通風孔や放熱板をふさがない。



- ・通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する。



- ・車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

カセットテープ挿入口に異物を入れない。



- ・火災や感電・故障の原因となることがあります。

カセットテープ挿入口に手や指を入れない。



手をはさまれないよう注意

- ・けがの原因となることがあります。

本機を車載用以外には使用しない。



- ・感電やけがの原因となることがあります。

使用上のご注意

●本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。

●スピーカーはアンプの出力(1チャンネル当たり45W)に対し、入力に十分余裕のあるもの、インピーダンス4Ω～8Ωのものをお使いください。

●次のような場所は避けて取り付けてください。

- ・直射日光の当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける所など、温度が極端に高くなる場所
- ・雨が吹き込む所や水がかかったり、湿気の多い所
- ・ほこりの多い所

●安全運転のために…

- ・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また**操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。**
- ・ステレオの音量は、お客様の心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

●車内の温度は…

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後、テープを聞くとときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。
(使用温度範囲：0℃～+40℃)

●LCD表示(表示窓)について

極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これはLCDの特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。

●バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。

●海外での使用は…

本機は日本国内用です。海外での使用はできません。

●スピーカーコードの接続について

本機はBTL*回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ず別冊の取付説明書の通りにしてください。

既設のスピーカーコードを利用するとき、左右のスピーカーコードの^{マイナス}側が車の金属部に接続されていたり、^{プラス}側同士が接続されていると故障の原因になります。

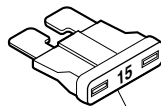
*BTL：Balanced Transformerlessの略

2組のパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

●ヒューズの交換について

本機のヒューズは15A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

また、15Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。



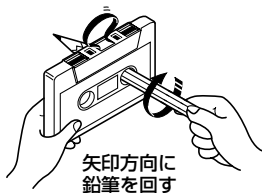
ヒューズ(15A)

●携帯電話を使用する場合は…

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。ただし、走行中は交通安全のため携帯電話を使用しないでください。

カセットテープの取扱いかた

- ・テープにたるみ
がありますと、
巻き込んだり、
故障の原因にな
ります。使用する
前に右図のよう
にしてたるみ
を取り除いてく
ださい。



- ・テープを引きだしたり、テープ面にふれない
てください。
- ・C-120やC-150などの長時間テープは、使用
しないでください。
長い時間録音や再生ができて便利ですが、
テープが薄く伸びやすいため機器内部に巻
き込まれる原因となります。

カセットテープの保管

- ・カセットテープはケースなどに納め、次の
ような場所は避けて保管してください。
- ・直射日光の当たる所
- ・ホコリや湿気の多い所
- ・スピーカーの上など磁気の影響を受けやす
い所

各部の名前

— ()内のページに説明があります。—

＋、－(音量)ボタン(⇒10、18)

音量調節や各種の設定ができます。

FMとAMボタン*(⇒10、12、14)

ソース(音源)を「ラジオ」にしたりFMまたはAMの聞きたいバンドを選ぶことができます。

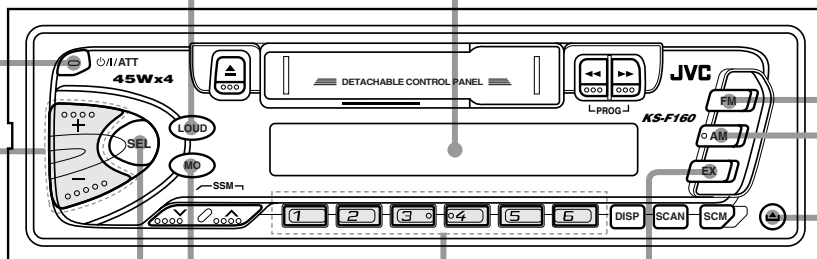
⏻/⏻(電源)/ATTボタン(⇒10、20)

電源の「入」↔「切」ができます。

LOUDボタン(⇒18)

小音量時の低音、高音を増強し聞きやすくすることができます。

表示窓(ディスプレイ)



モノラル MOボタン(⇒14)

FMステレオ放送が雑音で聞きにくいとき使います。

数字ボタン(⇒13、14)

EXボタン*(⇒10、15)

バンドに関係なく放送局を1局だけメモリーすることができます。

セレクト SELボタン(⇒11、18)

音量・音質調節のモードが選べます。
2秒以上押しすと、時計合わせができます。
本機をリセットするときは、このボタンを押しながら⏻(電源)/ATTボタンを同時に2秒以上押します(⇒21)。

⏻(コントロールパネル取り外し)ボタン(⇒20)

*印のボタンは電源を「入」にすることもできます。

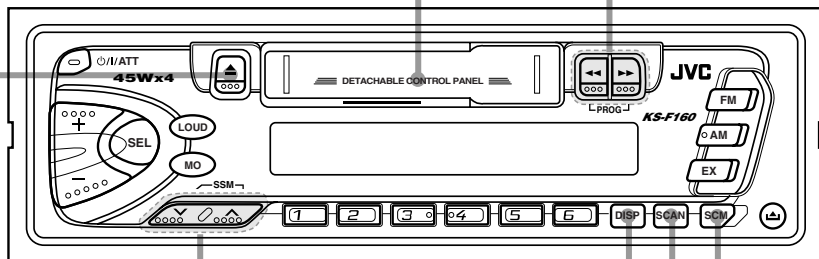
◀◀、▶▶ ボタン (→16)

テープの早送り、巻戻しができます。
テープの走行方向を変えるときは、◀◀と▶▶ ボタンを同時に押します(プログラム
PROGRAM)。

▲(テープ取出し)ボタン(→17)

テープを取り出すとき押し込みます。
テープ再生中は、ソース(音源)の切り換え
ができません。

カセットテープ
挿入口



ディスプレイ
DISPボタン(→15、17)
表示内容を変えることができます。

SCANボタン(→14)
自動的に周波数が高い方に移動して、
放送局を探します。

選局ボタン (∨、∧)

ソース(音源)によって動きが異なります。
放送局を選局するとき使います(オート選局/
マニュアル選局) (→12)。

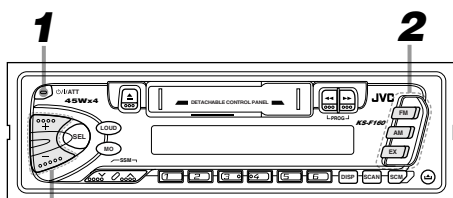
ステレオメモリー機能
SSM機能を使ってFM放送の放送局をメモリー
ーするとき、∨と∧ ボタンを同時に2秒
以上押します (→12)。

**SCM(サウンドコントロール
メモリー)ボタン(→19)**

基本操作

準備

- 車のエンジンをかける。本機は、エンジンキーが「OFF」またはACC「OFF」の状態では電源を入れることができません。



3

1 電源を入れる

- ・「HELLO」が表示され、電源を切る前のソース(音源)…お買い上げ時は「FM」が表示されます。

2 ソース(音源)を選ぶ



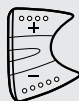
}: 「ラジオ」…押すごとにバンドが選べます。




: バンドに関係なく放送局を1局だけメモリーして呼び出すことができます。

- これらのボタンは、ダイレクトソース 切換機能のほかに電源を「入」することもできます。
- 本機にカセットテープを入れると、ソース(音源)が「テープ」になりテープ再生が始まります。この場合、ソース(音源)が「テープ」に固定されます。テープを取り出すまで「ラジオ」には切り替わりません。

3




を押して音量を調節する

- 調節範囲
VOL 00~VOL 50 (初期設定 VOL 15)
- 音量を一時的に下げる
 (電源)/ATT ボタンを「ポン」と押すと、「ATT」が点滅表示され音量が下がります。もう一度押すと元の音量に戻ります。

●電源を「切」にする



 (電源)/ATT ボタンを1秒以上押します。「SEE YOU」が表示され電源が切れます。

- ・1秒以上押す。

ご注意

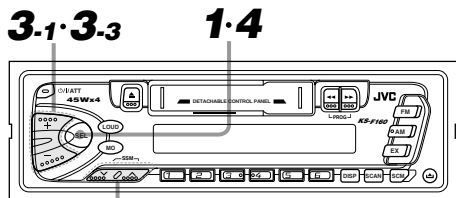
- 電源を切る前に、▲(テープ取出し)ボタンを押し込んでテープを取り出しておいてください。

〈お知らせ〉

- 音量・音質の調節は18~19ページをご覧ください。

時計を合わせる

時計を合わせる



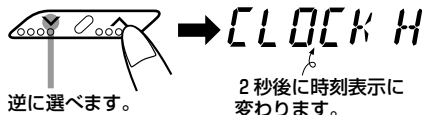
2・3・2

1 SEL を2秒以上押す

・お買い上げ時は「CLOCK H」が表示されます。→手順3へ進む

15秒以内に

2 +/- (または +/-) を押して「CLOCK H」を選ぶ

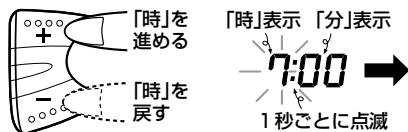


15秒以内に

3 +/- と +/- で 現在時刻に合わせる

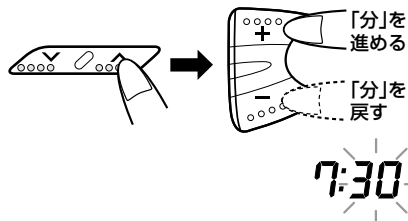
例：7時30分に合わせる
(12時間表示方式です)

3-1 「時」を7に合わせる



3-2 「CLOCK H」を選び…

3-3 「分」を30に合わせる



15秒以内に

4 SEL を押す

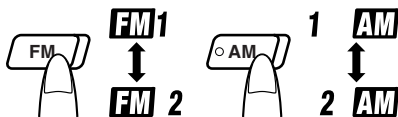
・元のソース(音源)の表示に戻ります。
SELボタンを押さないときは、15秒後に元のソース(音源)の表示に戻ります。

〈お知らせ〉

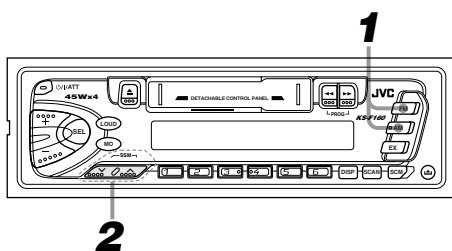
- 本機の時計は、月に1分程度のズレを生じることがあります。
- 時刻を合わせ直すときも手順1~4の操作をします。
- 時刻合わせのとき、+、-(音量)ボタンを押し続けると「時」または「分」が連続して変わります。

ラジオを聞く

1 **FM** または **AM** を押して
バンドを選ぶ

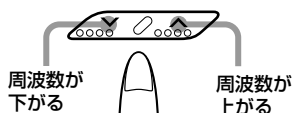


・押すごとにバンドが選べます。



放送局を選ぶ

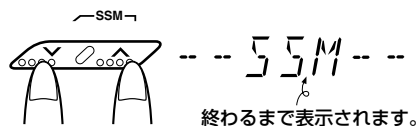
2 選局ボタン (または) を押して選局する



- **オート選局** : 「ポン」と押して離す。
(シーク) 本機が自動で放送局を探し、受信すると停止します。
- **マニュアル選局** : 1秒以上押して「M」を表示させたあと、「ポン・ポン」と押して選局する。
・FMは0.1MHz、AMは9kHzずつ変わり、押し続けると連続して変わります。

2 放送局を自動でメモリー(記憶)させる
—SSM(ストロングステーションメモリー)機能—

2 選局ボタン()と()を同時に2秒以上押す
(FM放送のときののみ)



・同時に2秒以上押す。

- 本機が自動で電波の強い放送局を数字ボタンの **1** ~ **6** にメモリーしていきます。

- メモリーし終わると数字ボタン **1** に記憶された放送局が表示されます。
- **FM1** (または **FM 2**) ごとに6局ずつメモリーされます。

〈お知らせ〉

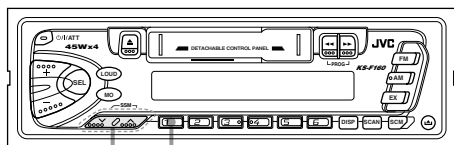
- テープ再生中のときは、▲ (テープ取出し) ボタンを押し込んでテープを取り出しておいてください。
- 受信状態が悪いと、オート選局が自動停止しないことがあります。
- マニュアル選局のモードは、選局の操作から5秒後に自動で解除されます。
- AM放送はモノラル受信です。

〈お知らせ〉

- SSM機能を使うと、すでにその **FM1** または **FM 2** にメモリーしてあった放送局は取り消されます。
- 放送局が6局より少ないときは、前のメモリー内容が残ります。
- 受信状態が悪いと、うまくメモリーされないことがあります。よく受信できる所に移動してから操作してください。
- AM放送のときは、SSM機能が働きません。
- 放送を聞くときは、プリセット選局が利用できます。(→14ページ参照)

放送局を選んでメモリー（記憶）させる

SSM機能を使って自動でメモリーされるほかに、放送局を選んでから数字ボタンにメモリーしておくこともできます。



1 2

例：FM放送の81.3MHzを **1** ボタンにメモリーする

1 選局ボタン (または) でFM81.3MHzを選局する

→12ページの「放送局を選ぶ(オート選局またはマニュアル選局)」参照

2 数字ボタンの **1** を2秒以上押す



・2秒以上押す。



押した数字ボタンと同じ数字が点滅すると、メモリーされます。これをマニュアルプリセットといいます。

- 数字ボタンのメモリー順を変えたり、新しい放送局を追加するときなどに使うと便利です。AM放送は、必ずこの手順でメモリーしてください。

ご注意

- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、メモリー（記憶）した放送局は取り消されます。また時刻表示は1:00に戻ります。電源を接続したらもう一度放送局や時計を設定し直してください。

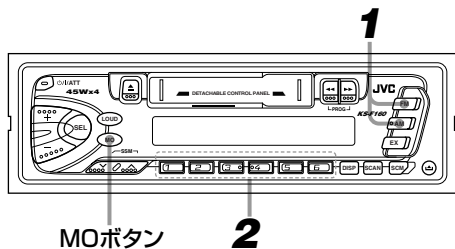
〈お知らせ〉

- FM放送の場合、この操作はSSM機能で放送局をメモリーした後にしてください。あとからSSM機能を利用すると、取り消されることがあります。
- AM放送の場合、1620kHzをメモリー（記憶）しておくと、高速道路などの特定地域で道路交通情報を聞くことができます。
- 数字ボタンは必ず2秒以上押し続けてください。短いとメモリーされません。

ラジオを聞く(つづき)

放送局を呼び出す(プリセット選局)

数字ボタン(1~6)にメモリー(記憶)されている放送局がワンタッチで選局できます。



1 **FM** または **AM** を押して
バンドを選ぶ

2 数字ボタン(1~6)を押して
選局する

(プリセット選局といいます)

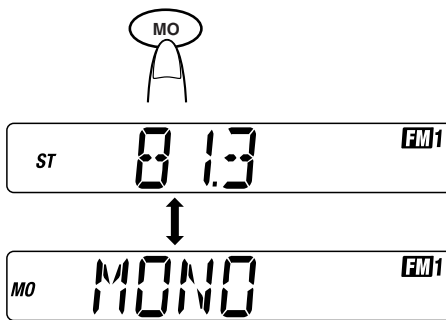


- 数字ボタン(1~6)にメモリー(記憶)されている放送局がワンタッチで選局できます。

(数字ボタンは2秒以上押し続けしないでください)

FM放送が雑音で聞きにくいときは

FMステレオ放送受信時に、電波状態が悪くて雑音が多いときは、FM放送の受信モードを「MONO」に切換えます。



表示窓に「MO」が表示され、モノラル受信モードになり聞きやすくなります。電波状態が良くなったらもう一度同じ操作をして「MO」表示を消します。FMステレオ放送を受信すると「ST」が表示されます。

スキャン選局



SCANボタンを押すと、自動的に周波数が高い方に移動して放送局を探します。放送を受信するごとに表示の周波数が点滅し、約5秒間モニターしていきます。聞きたい放送局のところでもう一度、SCANボタンを押すとその放送を継続して聞くことができます。

EXボタンの使いかた

プリセット選局は、バンドごとに6局ずつメモリーできますがさらに、EXボタンにはバンドに関係なく1局メモリーできます。

例：道路交通情報を聞くため1620kHzをメモリーする

1 を押してバンドを「AM」にする



- 1 **AM** (AM1) または
- 2 **AM** (AM2) を選びます。

2 選局ボタン (または) を押して1620kHzに合わせる

→ 12ページの「放送局を選ぶ(オート選局またはマニュアル選局)」参照

3 を2秒以上押す



・2秒以上押す。

(1 **AM** または2 **AM** が **AM** になります。)

点滅するとメモリーされます。

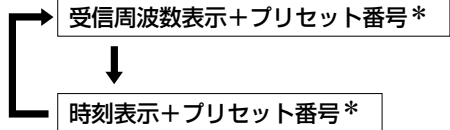
- 高速道路など特定地域で道路交通情報を聞きたいときは、EXボタンを押します。FM放送(またはAM放送)を聞いていてもワンタッチで1620kHzを受信することができます。なお、テープを聞いていたときは、▲(テープ取出し)ボタンを押してからEXボタンを押してください。

- お買い上げ時は、FM76.0MHzになっています。

放送受信中の表示内容を変える



DISPボタンを押すと、表示内容を変えることができます。



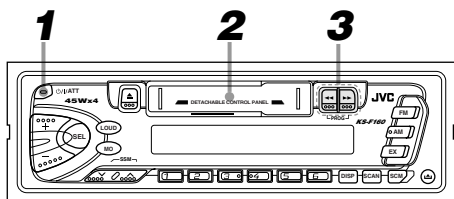
* プリセット選局時

ご注意

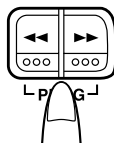
● 電動アンテナ装備車の場合

本機の[リモート出力]コードを車両側のオートアンテナコントロール端子に接続している場合、ソース(音源)を「テープ」に切り替えても、電動アンテナは戻りません。本機の電源を「切」にすると戻ります。

テープを聞く



テープの早送り・巻戻し

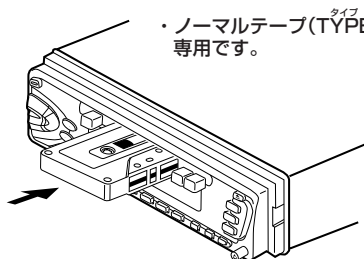


1 電源ボタンを押して電源を入れる

2 カセットテープを入れる

→ソース(音源)が「テープ」になり再生がスタート

・ノーマルテープ(タイプ I)専用です。



3 左右のボタンを同時に押して聞きたい面を選ぶ

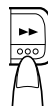
TAPE 111 BEAT POP SOFT

↑ : フォワード方向 (上の面)の再生

TAPE 111 BEAT POP SOFT

↓ : リバース方向 (下の面)の再生

早送り・
巻戻し



: 押し込むと、表示窓の「TAPE」が点滅表示され巻き終わりまで早送りすると反転し再生に変わります。



: 押し込むと、表示窓の「TAPE」が点滅表示され巻き始めまで戻ると再生に変わります。

・途中で再生状態にしたいときは、◀と▶ボタンの両方を軽く押します。

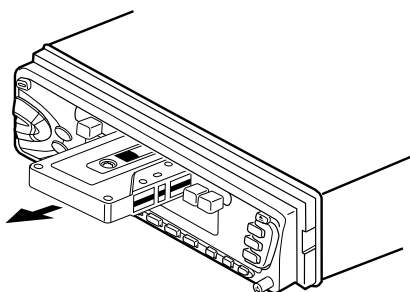
● 使えるカセットテープは

本機はノーマルテープ(タイプ I)専用です。ハイポジションテープ(TYPE II)やメタルテープ(TYPE IV)は、音質が変わりますのでお勧めできません。

テープを取り出す



▲(テープ取出し)ボタンを押し込みます。テープが出てくると、テープを入れる前のソース(音源)に戻ります。



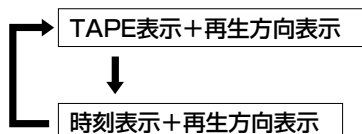
ご注意

- 「ラジオ」にソース(音源)を切換えるときは、必ずテープを取り出してください。テープ再生中は、ソース(音源)の切換えができません。
- 電源を切るときは、必ず先にテープを取り出しておいてください。テープ再生中に電源を切ると、ヘッドにテープが接触した状態で停止します。

テープ再生中の表示内容を変える



DISPボタンを押すと、表示内容を変えることができます。



ヘッド部の清掃

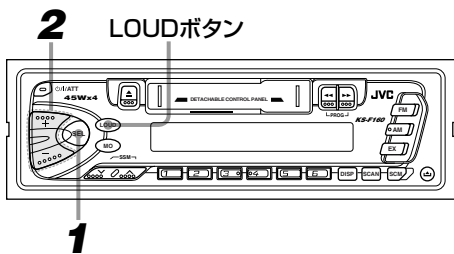
ヘッドは音をひろい出す大切な部分です。ヘッドが汚れると

- 音質が悪い。
- 音が小さい。
- 音がとぎれる。



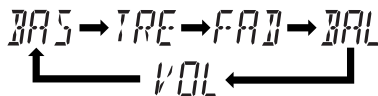
などの症状がでます。症状が出てくる前(およそ10時間使うごと)に市販のヘッドクリーナーを使ってヘッド部を清掃してください。詳しくはヘッドクリーナーの説明書を参照してください。

音量・音質の調節



1 SEL を押して調節したい項目を選ぶ

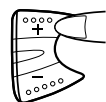
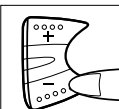
・「ボン・ボン」と押すごとに以下のように変わります。



・音量調節(VOL)のみのときは、+、- (音量) ボタンを直接押して調節します。

5秒以内に

2 を押して音量・音質を調節する



BAS (低音)	低音が減衰する	低音が強調される
TRE (高音)	高音が減衰する	高音が強調される
FAD (フェーダー)	フロントの音量が下がる	リアの音量が下がる
BAL (バランス)	右チャンネルの音量が下がる	左チャンネルの音量が下がる
VOL (音量)	音量が下がる	音量が上がる

・調節から5秒後に、表示窓は自動で前の表示に戻ります。

●音量・音質の初期設定状態と調節範囲

	初期設定	設定範囲
BAS (低音)	00 (フラット)	-06 ~ +06
TRE (高音)	00 (フラット)	-06 ~ +06
FAD (フェーダー)	00 (センター)	リア R06 ~ フロント F06
BAL (バランス)	00 (センター)	リフト L06 ~ ライト R06
VOL (音量)	15	00 ~ 50

●ラウドネスコントロールについて

お買い上げ時は、ラウドネス「オン」に設定されており表示窓に **LOUD** が表示されます。小音量時の低音、高音が増強され聞きやすくなります。



・押すごとに「オン→オフ」になります。

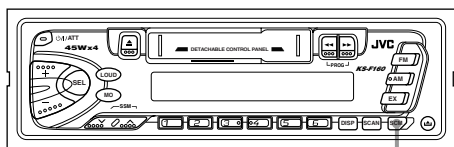
LOUD ON ↔ LOUD OFF

〈お知らせ〉

- フェーダー調節は、4スピーカー接続のときに限り調節してください。
- 調節したレベルが表示窓に表示されます。

SCMボタンでサウンドを選ぶ

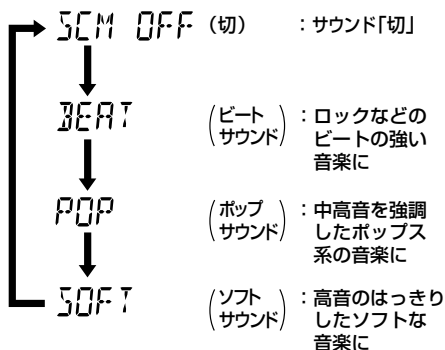
SCM(サウンドコントロールメモリー)ボタンを使うと、お聞きになる音楽に合わせてサウンドが自由に選べます。



SCMボタン




・「ポン・ポン」と押しごとに次のように変わります。




SCMボタンのメモリー内容を変える

1 ソース(音源)を選ぶ


・ラジオまたはテープを選びます。

2  を押してサウンドを選ぶ

・BEAT、SOFTまたはPOPのいずれかを選びます。

3  を押して「BAS」または「TRE」を選ぶ4  で音質を調節する

- ・調節したレベルが表示窓に表示されません。
- ・ラウドネスを「オン↔オフ」したいときは、LOUDボタンを使います。BEATはお買い上げ時ラウドネス「オン」です。
- ・手順3と4をくり返して「BAS」および「TRE」を調節します。

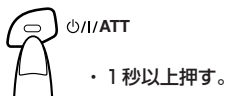
5  を2秒以上押す

- ・手順2で選んだサウンド名が点滅表示され、調節したレベルがメモリー(記憶)されます。

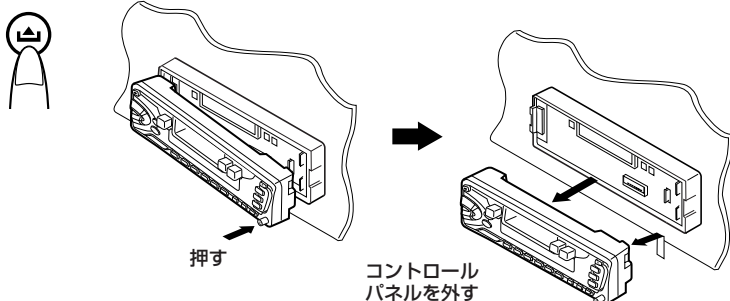
コントロールパネルの着脱

コントロールパネルを外す

1  ϕ /ATT を 1 秒以上押して電源を「切」にする

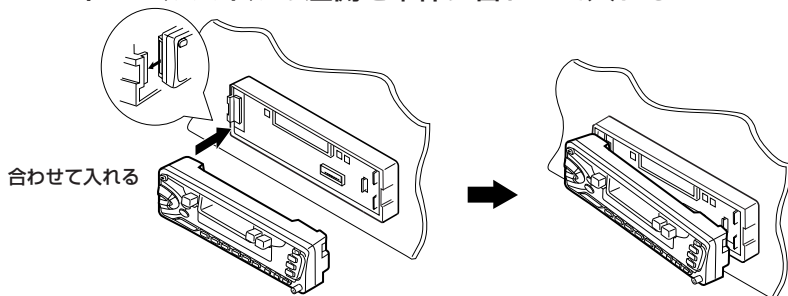


2  を押す

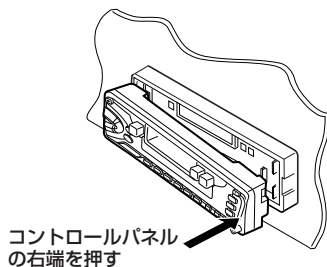


コントロールパネルを取り付ける

1 コントロールパネルの左側を本体に合わせて入れる








2 コントロールパネルの右端を「カチッ」と音がするまで押す



故障かな?と思う前に

—おや?故障かな?と思ったら…修理を依頼される前にもう一度お確かめください。—

コントロールパネルの着脱・故障かな?と思う前に

症 状	原 因 ・ 処 置
<p>放送がうまく受信できない。 雑音が多くて聞きにくい。 AMラジオが受信できない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● アンテナの接続を確かめる。またはアンテナが十分に伸びているか確かめる。 ● オートアンテナコントロール端子(またはアンテナブラスター電源端子)に本機の「リモート出力」コードを正しく接続する。 ● 放送局の周波数に正しく合わせる。 ● 携帯電話などを本機から離す。
<p>電源を切っても「ATT」表示が点滅する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●  (電源) / ATT ボタンを「SEE YOU」が表示されるまで… 1秒以上… 押す。
<p>電源が入らない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● <u>電源 (ACCライン)</u> のコードが接続されていないため。 ● 車のエンジンキーが「OFF」またはACC「OFF」のため。 (→ 10ページ参照)
<p>ラジオの音が出ない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● カセットテープが入ったままになっている。 →  (テープ取出し) ボタンを押してカセットテープを取り出す。
<p>どのボタンを押しても正しく動作しない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作している。 → リセットの操作をする。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>SELボタンを 押したまま…</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p> / (電源) / ATT ボタンを 同時に 2 秒以上押す。</p> </div> </div> <p>(時計の設定や放送局などのメモリー内容が取り消され、お買い上げの状態に戻ります)</p>

〈お知らせ〉

- 本機の故障や不具合等により、利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間
お買い上げの日から1年間

補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げ販売店または別紙の「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

持込修理

21ページの「故障かな?と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお正しく動作しないときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したテープなどのメディアも、一緒にご持参ください。

保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎() -

主な仕様

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

チューナー部

- アンテナ端子：外部FM/AM兼用アンテナコネクター×1
(JASOプラグ仕様)
- FMチューナー部
- 受信周波数：76.0MHz～90.0MHz
- 実用感度：14.3dBf(1.43 μ V/75 Ω)
- AMチューナー部
- 受信周波数：522kHz～1,629kHz
- 実用感度：27dB μ (22.4 μ V)

カセットプレーヤー部

- トラック方式：コンパクトカセット・ステレオ
- ワウ・フラッター：0.15%W・RMS
- 早巻き時間：約190秒(C-60)
- 周波数特性(再生)：ノーマルテープ 50Hz～14kHz
- SN比(ノーマルテープ)：52dB

オーディオアンプ部

- 最大出力：フロント 45W+45W
(4 Ω 、1kHz)
リア 45W+45W
(4 Ω 、1kHz)
- 適合インピーダンス：4 Ω (4 Ω ～8 Ω で使用可能)
- 出力端子：RCAピン×1系統
1.0V/1k Ω

電源部・その他

- 電源電圧：DC14.4V(11V～16Vで使用可能)
マイナスアース車用
- 取付寸法：幅178mm×高さ50mm×奥行150mm
- 外形寸法：幅178mm×高さ50mm×奥行167mm
- 質量：約1.3kg(付属品含まず)

付属品

- ・接続コード(16ピンコネクター)…………… 1
- ・ネジ(M5×6mm)…………… 4
- ・皿ネジ(M5×6mm)…………… 4

別売りのオプション品

- RCA PIN コード：CN-505E(長さ0.5m)
CN-510E(長さ1m)
CN-520E(長さ2m)

- 別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。
(品番は変更されることがあります)

お手入れ

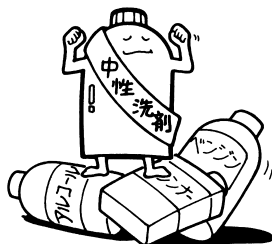
本体の清掃

パネル面が汚れたら柔らかい布などで**からぶき**してください。

汚れがひどいときは、水または中性洗剤を少し布につけてふき、あとは**からぶき**してください。

ご注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。



ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに
関するご相談

お買い物相談や製品についての全般的なご相談
JVCカーオーディオお客様ご相談センター

別紙の
「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」
をご覧ください。

☎ 0120-977-846 (フリーコール)
FAX (027) 254-8927

受付時間 10:00~18:00

(土、日、祝日、当社休日を除く)

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

ビクターインターネットホームページアドレス
カーAV機器ホームページアドレス

<http://www.jvc-victor.co.jp/>

<http://www.jvc-victor.co.jp/car/>

JVC

MANUFACTURED BY VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

日本ビクター株式会社

AV&マルチメディアカンパニー

〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12